

ガス給湯暖房用熱源機

エックスジェット・オート

JET AUTO

形式名
GS-R368SD-QDJ
GS-RT368SD-QDJ
GS-RTF368SD-QDJ
GS-RTB368SD-QDJ

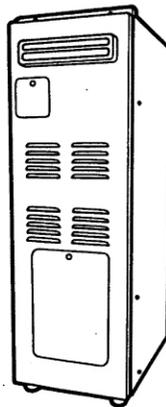
取扱説明書

このたびは、ガス給湯暖房用熱源機をお買上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい使いかたで上手にお使いください。
- お読みになったあとは、別添の保証書とともに、いつでも取り出せるところに大切に保存してください。

品番（設置方式により異なります。）

- 44-030型（屋外設置・PS標準設置形）
- 44-031型（屋内設置形）
- 44-032型（屋内設置・前方排気延長形）
- 44-033型（屋内設置・後方排気延長形）



図は44-030型です。

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。

もくじ

	ページ
●安全に正しくお使いいただくために	1
●特長	8
●各部のなまえとはたらき	9
・システム例	9
・台所リモコン	10
・浴室リモコン	12
・増設リモコン	13
●ご使用前に	14
・使用前の準備と確認	14
・安全装置について	15
・現在時刻の合わせかた	16
●給湯の使いかた	17
・お湯の出しかた	17
・優先表示について	19
・給湯設定温度の記憶について	20
●湯はりのしかた	21
・運転前の準備	21
・テラックスタイプのふるアダプター使用時	23
・スタンダードタイプのふるアダプター使用時	25
●おふろの温度調節	27
●湯はり予約のしかた	29
●残り湯の流しかた	31
・テラックスタイプのふるアダプター使用時	31
・スタンダードタイプのふるアダプター使用時	33
●だし湯のしかた	34
●暖房の使いかた	35
●呼び出し音を鳴らしたいとき	38
●床暖房のしかた	39
●床暖房予約のしかた	41
●凍結予防のしかた	45
●点検・お手入れ	48
●故障・異常の見分けかたと処置方法	50
●アフターサービス	53
●仕様一覧表	54

大阪ガス株式会社

販売店の方へ

- 機器の設置が終わり、お客さまに使いかたを説明されましたら、この取扱説明書をお渡しく下さい。

 大阪ガス

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ずお守りください。

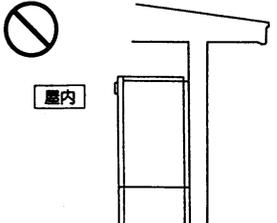
製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。	
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。	
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。	
 一般的な注意	 火気厳禁	 電源プラグを抜く
 一般的な禁止	 接触禁止	 アースを接続せよ
 必ず行う	 分解禁止	 ぬれ手禁止

危険

屋外式ガス機器

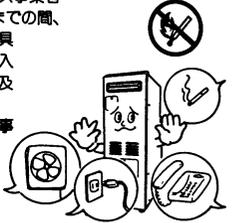
●この機器は屋外式ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



屋内

ガス漏れ時使用厳禁（ガス漏れ時の処置）

●ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他の）のスイッチの入切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災や爆発事故を起こすことがあります。



- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
- ② もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

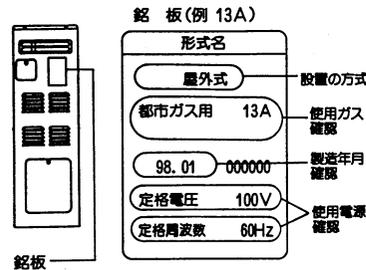
安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

警告

使用ガス [及び使用電源] について

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)及び電源(電圧・周波数)の適合を確認する。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。



- 特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認する。
- わからない場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。
- 製造年月日は、製造番号に表示されています。
例: 98.01-000001では、「98.01」が1998年1月を表しています。

機器の設置 (及び付帯工事)

- 機器の設置・移動及び付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
- 囲いの禁止
設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



使用上の注意

●やけどに注意

①シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出る場合がありますので十分注意してください。



②お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくした時あるいは、万一機器の故障の際には一瞬、熱いお湯が出る場合があります。やけどの防止のために出始めのお湯は手やからだにかけないでください。



③シャワー、給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビクッすることがあります。



異常時の措置

- ①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止しガス栓を閉じる。
- ②故障異常の見分けかたと処置方法 (50・51ページ) に従い処置する。
- ③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止してお買い上げの販売店に連絡する。
- ④地震、火災などの緊急の場合は迅速に使用を中止しガス栓を閉じる。

安全に正しくお使いいただくために

警告

火災予防（火災注意）

●可燃物に注意

機器及び排気口の周囲にもえやすいものを置かない。
火災の原因になります。



●スプレー缶厳禁

機器の周辺や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない。
熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



●引火のおそれのあるものの使用禁止
機器の周辺ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しない。
引火して火災のおそれがあります。



分解の禁止

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
異常作動してけがの原因になります。



子どもに注意

●浴槽のふろアダプターの周辺はあつくなりますので、藩ったりすると感電事故につながる可能性があります。
特に小さな子供のいる家庭では注意が必要です。



注意

入浴時の注意

●追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の上部と下部とは温度差があるので、入浴時には十分かきまぜてください。



●浴槽のふろアダプターをタオルなどでふさくと注湯不良となり、お風呂の沸かしができません。



●追いだきのときは、浴槽の水位がふろアダプターより上にあることを確認してください。
水位がふろアダプターより低いと、空だきにより機器の故障や浴槽の損傷の原因になります。



安全に正しくお使いいただくために

注意

使用上の注意

●使用中や使用直後は、排気口やその周辺は高温になっているので、手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。



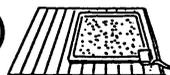
《床暖房を使用の場合》

●床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間、座ったり寝そべったりしていると、低温やけどをすることがあります。特に次のような方が使用する場合は周りの人は注意してあげることが必要です。

- * 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志でからだを動かさない方
- * 疲労の激しいとき
- * 深酒したとき
- * 皮膚の弱い人



●床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。
床材の割れ、そり、隙間の原因になります。



●カーペット式床暖房に鋭利なものを刺したり、落としたり、釘打ちなどしない
* 温水パイプが破損する原因になります。



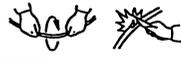
《パネルヒーターを使用の場合》

●パネルヒーターの表面は触らないでください。
やけどのおそれがあります。
特に小さいお子様が
いる家庭では注意が必要です。



電気事故防止

●コードの破損・加工禁止/無理な力禁止
電源コードを加工したり無理な力を加えたりしないでください。
感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。



●プラグの不完全接続禁止

電源プラグの差し込みは確実に行ってください。
差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。



●傷んだプラグ、コードの使用禁止

傷んだ電源プラグ、コードは使わないでください。
感電や火災の原因になります。



●プラグにほこりを付着させない（清掃する）

電源プラグはほこりを拭き取ってください。
発火の原因になります。



●ぬれた手で抜き差しはしない

ぬれた手で電源プラグを触らないでください。
感電のおそれがあります。



●コードを持って引き抜きしない

電源コードを引っぱってプラグを抜かないでください。
電源コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因になります。



●アース工事必要

この機器はアース工事が必要ですのでアースされていることを確認してください。



安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

⚠ 注意

リモコンの注意

- リモコンは、子どもがいたずらしないように注意してください。
- リモコンは水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが、故障に水をかけないでください。故障の原因になります。



- リモコンは分解しないでください。故障の原因になります。



用途について

- この機器はソーラー機器（太陽熱温水器）との接続はできません。
- 給湯・シャワー・ふろのお湯張り・追いだし・暖房以外の用途には使用しないでください。



積雪による排気口の閉塞について

- 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれ、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。
- 屋根から落ちた雪が排気口をふさぐおそれのある場合はふさがれないように処置してください。



運転停止（消火）時の注意

- 燃焼中にガス栓を操作しての消火および電源プラグをコンセントから抜いての消火はしないでください。



お願い

家庭用以外には使わない

- 本機器は家庭用ですので、業務用には使用しないでください。いちじるしく機器の寿命が短まります。

雷時の処置について

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷するおそれがあります。



この場合は機種によっては、すべての表示が消灯しますので、設定し直してください。

冬期の凍結予防について

- この機器には、水の凍結による機器の破損を防止するために「凍結予防機能」が内蔵されています。「凍結予防機能」を行なう期間中は、緊急の場合以外は電源プラグは抜かないでください。電源プラグを抜いたり、ガス栓を閉じると「凍結予防装置」が作動せず、機器が破損することがあります。
- 凍結した場合はそのままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は凍結がとけたあと、すべての機器及び配管から水漏れのないことを確認してください。



安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

お願い

飲用にお使いのときは

- 朝一番などのように長時間使わなかった後、使い始めのぬるいお湯（洗面器一杯程度）は雑用水として使い、その後のお湯を飲用水としてお使いください。



長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、万一のガス漏れを防止するためにガス栓を閉じておいてください。
- 冬期に凍結の恐れがある場合は45～47ページに従って凍結予防してください。



ガス栓を閉める

停電のとき

- 使用中万一同電した場合は、機器の安全装置が働いて生ガスが出っ放しになることはありませんが、念のため最初から操作をやり直してください。
- 湯はり、追いだし中に停電すると、ふろアダプターから水が流れっぱなしになりますので、給水栓を閉じてください。
- 時刻・予約時刻ともリセットされますので、通電後16、29～30ページに従って再度、時刻・予約時刻を設定してください。



使用上の注意

- 兼用入浴剤や洗剤の使用について
 硫酸、酸、アルカリを含んだ兼用入浴剤や洗剤は熱交換器等が腐食する原因になりますので、使用しないでください。



酸・アルカリ

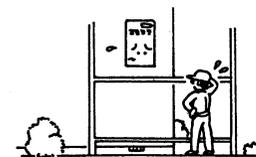
設置状態の確認

- 機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。

① 機器は水平なところ（確実に設置できる場所）に設置してあること。



② 足場などを組まなければメンテナンスができない高所に設置されていないこと。メンテナンスをお断りすることがあります。



③ 近隣の家が騒音（燃焼音・燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してあること。



④ 冷房装置や暖房装置の吹き出し口・吸い込み口付近は避けてあること。

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

お願い

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
- 使用後及び、お出かけやおやすみの際には、消火を確認してください。



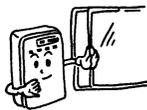
補助具について

- 補助具はこの機器用の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。



施工上の注意

- 網戸のある窓を開けて使用した場合、風の流れにより網戸を破損することがあります。網戸の位置関係に注意してください。



日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
 - ① ガス臭くありませんか？
 - ② 水漏れはありませんか？
 - ③ 異常音はありませんか？
 - ④ 機器は汚れていませんか？
- 点検・お手入れの際には必ずガス栓を閉じ、(電源プラグを抜き) 機器が冷えてから行ってください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯垢)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はフレンサーやアンモニア水(10%溶液)等で拭き取ってください。

設置状態の確認

- 排気口からの排ガスによって加熱されては困るもの(危険物、植物、ペットなど)を置かないでください。



断水時の処置

- 断水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、14ページからの「ご使用前に」「給湯の使いかた」「お湯はりのしかた」に従って操作してください。

特長

安定出湯

- 比例制御により、水圧変動に対しても能力範囲内では、安定した湯温が得られます。

クリーン暖房

- 暖房は、温水を使用するため、お部屋の空気を汚さないクリーン暖房です。

ふる自動機能

- スイッチを押すだけで、浴槽へのお湯はりが自動でできます。(リモコンの運転スイッチが入っている状態)

簡単操作

- 給湯は、給湯栓を開くだけで、自動的に運転をします。(リモコンの運転スイッチが入っている状態)
- 暖房は、お部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。
- ふるは、リモコンのスイッチを操作するだけで、自動的に運転をします。(リモコンの運転スイッチが入っている状態)

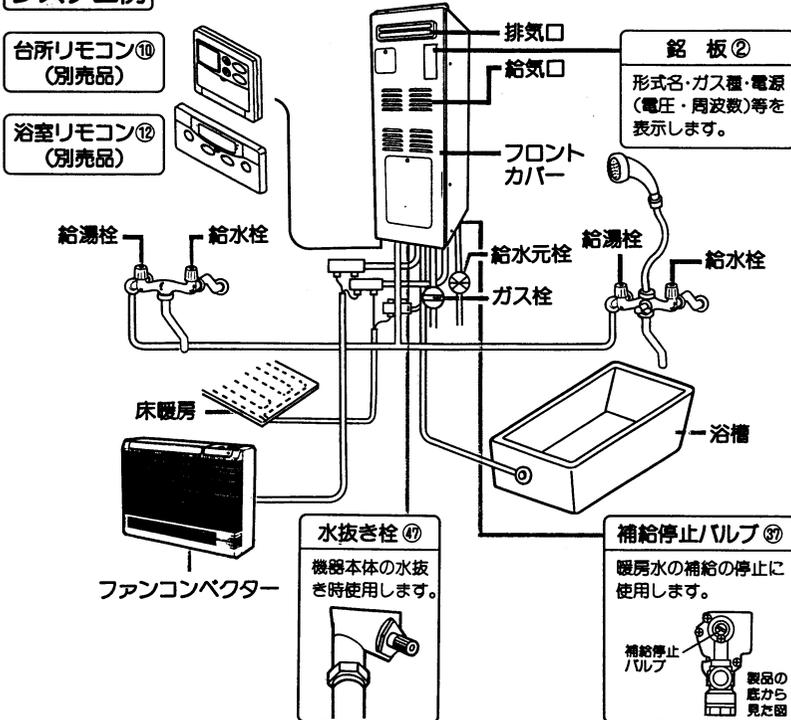
特長

各部のなまえとはたらき

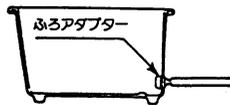
各部のなまえとはたらき

システム例

○内の数字は説明しているページを示します。



ふろアダプター ふろアダプターには、テラックタイプと、スタンダードタイプの2種類があります。ふろアダプターの種類によって一部仕様が異なります。21~34ページの使いかたを参照してください。



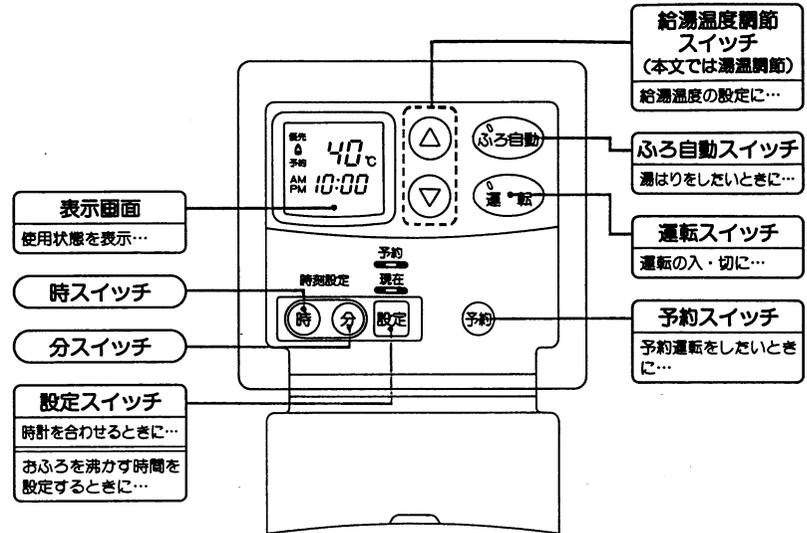
テラックタイプ	スタンダードタイプ
温度検出機能 安全装置付	形状記憶合金 安全装置付

リモコンのOKモニター(時計表示部)の数字の点滅(51ページ)

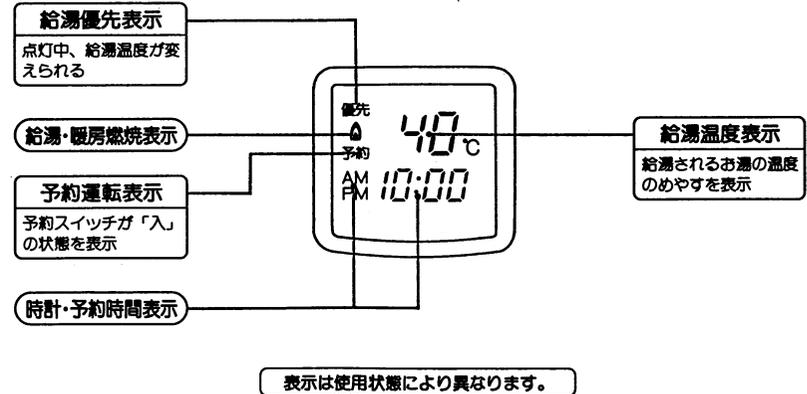
暖房運転時の点滅→放熱器の運転スイッチをいったん「切」にして再操作してください。
 給湯運転時の点滅→給湯栓をいったん閉めて再操作してください。
 上記の操作をしても、点滅がとまらないときは、使用を中止し、大阪ガスにサービスを依頼してください。

台所リモコン [別売部品]

各部のなまえとはたらき



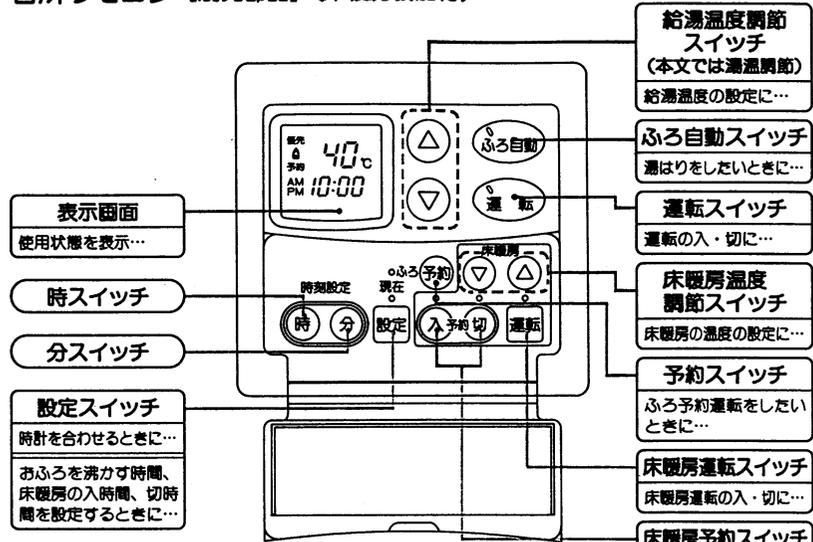
表示画面



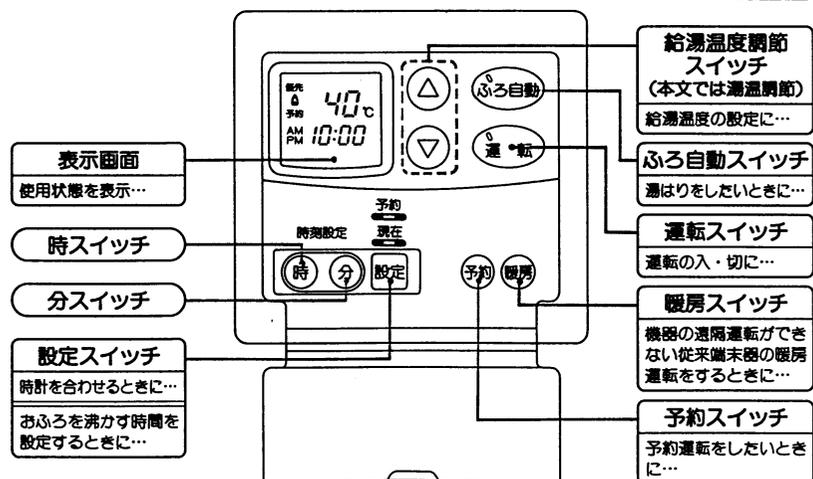
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

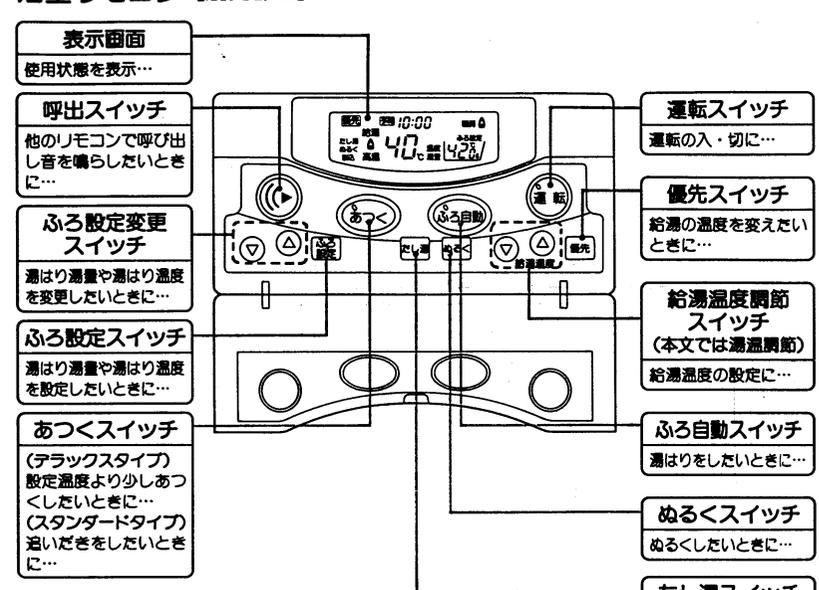
台所リモコン [別売部品] (床暖房機能付)



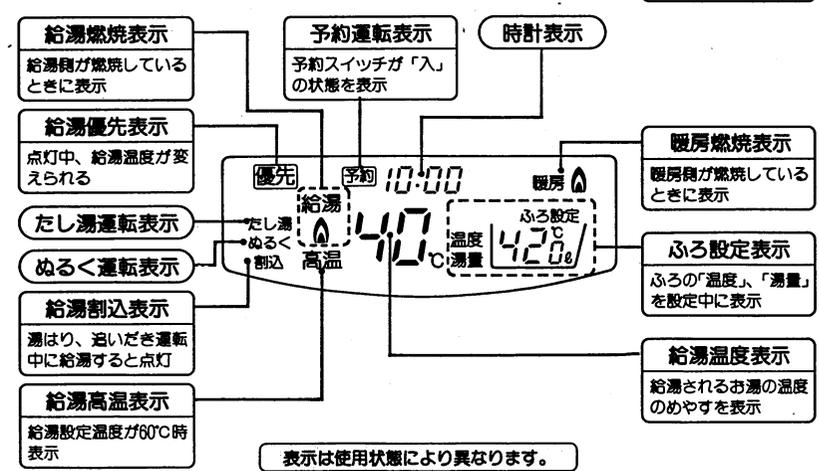
台所リモコン [別売部品] (暖房スイッチ付)



浴室リモコン [別売部品]



表示画面

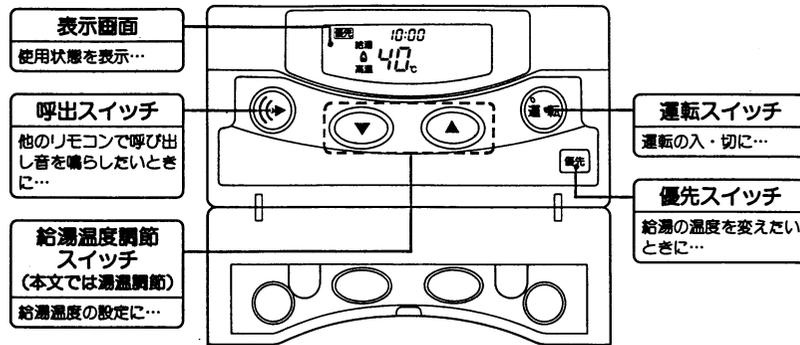


各部のなまえとはたらき

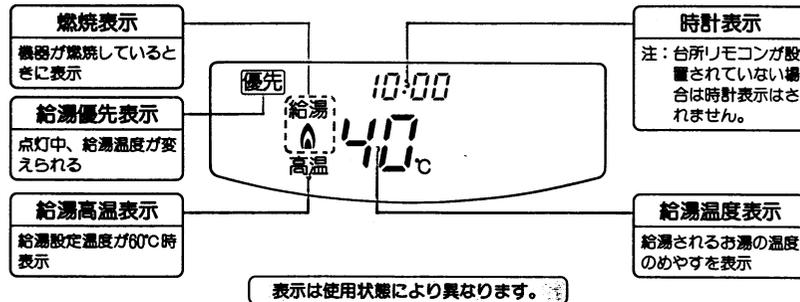
各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき

増設リモコン [別売部品]

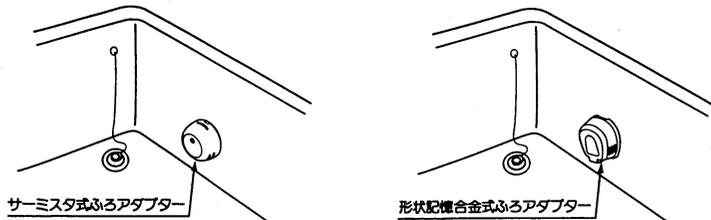


表示画面



ふろアダプター

サーミスタ式ふろアダプター (テラックタイプ) 形状記憶合金式ふろアダプター (スタンダードタイプ)
(サーミスタ温度検出式安全装置付) (形状記憶合金式安全装置付)



ご使用前に

ご使用前に

使用前の準備と確認 (機器の使用前に次のことを確かめてください。)

- 機器の周辺には、紙・プラスチック・油など燃えやすい物がおかれていないか確かめる



- 給水元栓が全開になっていることを確かめる



- 機器の電源プラグをコンセントに差し込む

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



- ガス栓を全開にする



ご使用前に

ご使用前に

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

この機器は7つの安全装置が組み込まれています。安全装置の役割、はたらきなどは下記の通りです。

安全装置	作動理由	はたらき(現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
残火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。(機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差し(機器用屋内ブレーカーを「切」 「入」)してから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組み込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	特に処置は必要ありませんが、特に冷え込みが厳しいときは、凍結予防のしかたもご確認ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の逃し弁より圧力を逃すためお湯がでます。給湯栓を閉じた後もお湯がでることがあります。	床面をぬらしますので不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

ご使用前に

現在時刻の合わせかた (台所リモコンで時刻設定操作をします。)

台所リモコン

浴室リモコン

時刻設定操作はできません

1 設定スイッチを押す

2 時・分スイッチを押す

約10秒後ランプが消えて時刻を刻み始めます。

- 運転スイッチON状態とOFF状態で表示は異なります。本ページは運転スイッチOFF状態で表示しています。
- 設定スイッチを押した後、約10秒以内に「時・分スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。
- 初めて設定スイッチを押したときは、AM12:00が表示されます。
- 時刻設定をする場合は午前 (AM) と午後 (PM) を間違えないように設定してください。

給湯の使いかた

給湯の使いかた

給湯の使いかた

お湯の出しかた

警告

●給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手でお湯の温度を確かめてから使用する。
やけどのおそれがあります。

●シャワーなど使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
●お湯を体に浴びたままお湯の温度を変えない。
やけどのおそれがあります。



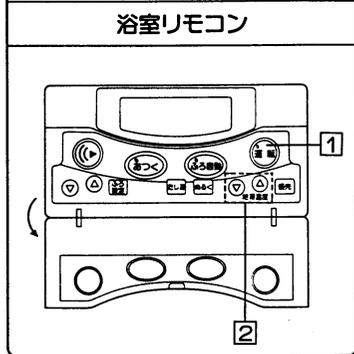
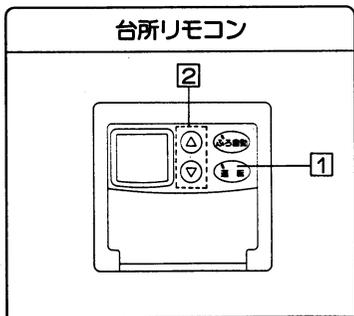
確認



禁止



1～4の手順で行ってください。



1 運転スイッチを押す



表示は浴室リモコンの例です。
表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞らずすぎたときや水温が30℃に近いときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



2 湯温調節スイッチを押す



ご希望の温度に

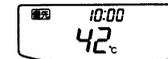
3 お湯を出す

給湯栓を開ける。



4 お湯を止める

給湯栓を開ける。



●ふろ設定を行う前は、ふろ設定が点滅しています。ふろ設定を行うと消灯します。(21～22ページ参照)

●優先表示が点灯していることを確認してください。消灯している場合は19ページの(優先表示の切り替えかた)に従い、使用するリモコンを優先にしてください。

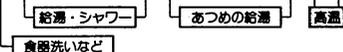
給湯設定温度について

■はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。

■給湯温度のめやす

この範囲は1℃単位で調節できます。

37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 °C



●表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。

●「△」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃にするときは、もう一度押ししてください。

給湯の使いかた

給湯の使いかた

優先表示について

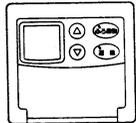
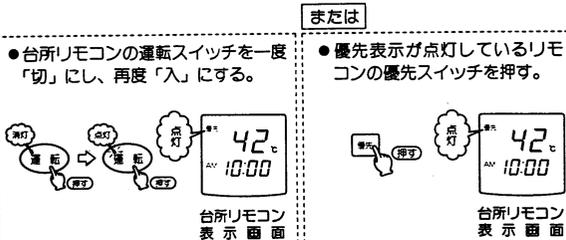
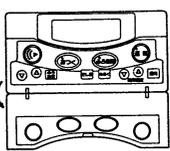
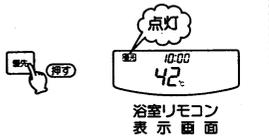
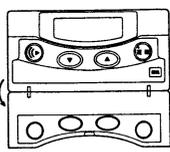
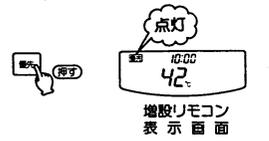
警告

- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
- 燃焼表示が点灯している時の優先の切り替えはしない。
- 使用する前に、リモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。やけどのおそれがあります。

- 複数のリモコンがある場合は優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

- 運転スイッチがすでに「入」の状態（給湯温度を表示している状態）を表しています。
- 優先にしたいリモコンの優先表示が点灯していることを確認してください。

優先したいリモコン	優先表示の切り替えかた
台所リモコン 	<p>台所リモコンの運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする。</p> <p>※優先表示が点灯しているリモコンの優先スイッチを押す。</p>  <p>台所リモコン表示画面</p>
浴室リモコン 	<p>●浴室リモコンの優先スイッチを押す。</p> <p>※増設リモコンが優先になっている場合は、浴室リモコンでは優先切り替えできません。一旦、台所リモコンを優先にした後、浴室リモコンの優先スイッチを押してください。</p>  <p>浴室リモコン表示画面</p>
増設リモコン 	<p>●増設リモコンの優先スイッチを押す。</p> <p>※浴室リモコンが優先になっている場合は、増設リモコンでは優先切り替えできません。一旦、台所リモコンを優先にした後、増設リモコンの優先スイッチを押してください。</p>  <p>増設リモコン表示画面</p>

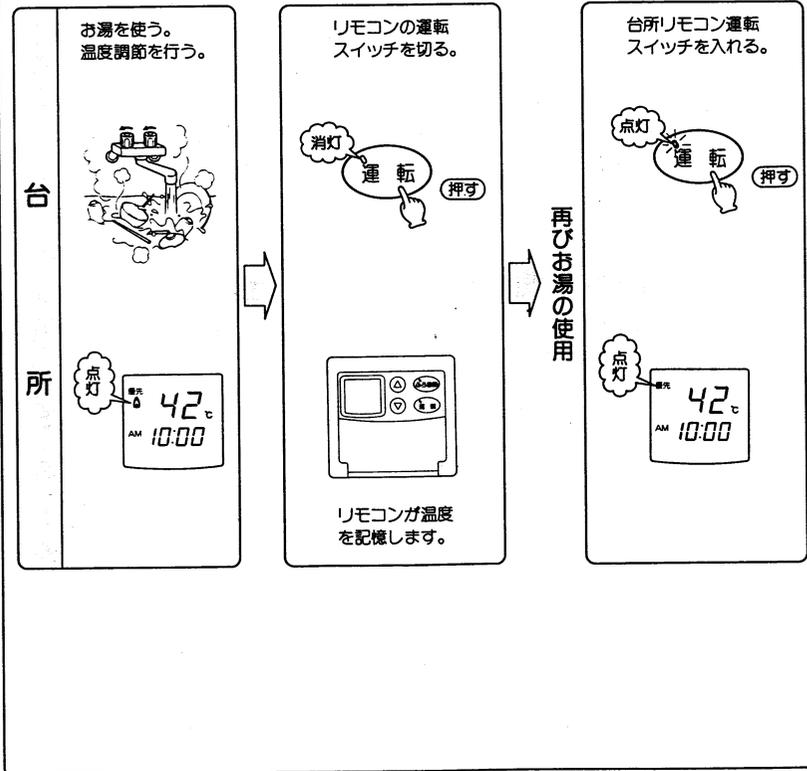
給湯設定温度の記憶について（各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。）

警告

前回到設定したお湯の温度を記憶しているため、高温（60°C）で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。やけどのおそれがあります。



- 台所リモコンで紹介をしますが、浴室リモコンでも同じ操作方法です。



給湯の使いかた